

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.5

平成26年度の事業内容をご報告いたします



合同研修 下村博文氏

平成26年度事業概要

目的	日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。
対象者 (全校種)	・新任校長 ・新任教頭 ・新任教務主任
研修 時期	○グループ別研修会 6月23日(月)、7月1日(火)、7日(月) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間 ○合同研修会 8月25日(月) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

いばらき教員応援団
<http://www.ibaraki-tcp.jp>

茨城県教育委員会
<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.html>

ごあいさつ

本県が産業大県「活力あるいばらき」として発展し、さらに21世紀の日本を創っていくためには、未来を拓くたくましい青少年を育成していくことが重要であります。「教育は人なり」という言葉がありますが、児童生徒に質の高い教育を実践するためには、優れた教員の存在が不可欠です。



この度「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援、ご協力に依り、4年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました先生方が、多数その講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様のこの事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

理事長
高野英一

グループ別研修 新任校長

6月23日(月) [参加者数 164名]

演題

人を導く責任



受講者の感想より

講演を聴き、「校長が持つ限界以上の学校はできない」という言葉が心に残った。教員集団を目標に向けて導くために、校長自身が変わっていく(限界を高めていく)ことが重要であると感じた。
(県立高等学校 校長)

上甲先生の講演は、私欲ではなく「人のため、社会のために尽くすことの素晴らしい」「自分の出世だけを考えずみんなの損得のことを考える心の広さ」など、松下幸之助氏とのエピソードを交え、一つ一つの熱い言葉が、胸にズシッと重く受け止めました。
(古河市内中学校 校長)

●講師

上甲 晃氏 【昭和16年 大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経験をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。

グループ別研修 新任教頭

7月1日(火) [参加者数 227名]

演題

教師の使命



受講者の感想より

「徳は孤ならず、必ず隣り有り。」池田先生のこの言葉に感銘を受けた。また、教育とは学問を教えるのも大切であるが、それ以上に大切なのは「教師の人格を生徒に移し替える」という言葉が印象的であった。
(県立高等学校 教頭)

一日一日を大切にして、当たり前のことを当たり前にやる。これをやると決めたら、確実にやり遂げる。今日のお話を聞いて、自分を振り返り、そのような思いを新たにした。
(土浦市内中学校 教頭)

●講師

池田 繁美氏 【昭和23年 福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

「師表徳化」という言葉がとても印象的であり、深く心に残っています。「素心の徳目」と「日常の心がけ」は私の机の上に置いておき、目につくようにしていこうと思い、実行しています。
(常総市内小学校 教頭)

徳とは、「思いやりの心」つまり、「他人に不快さを与えないこと、安心・喜びを与えること」であるという非常にわかりやすく、今の教育に必要不可欠の考え方であると感じました。
(つくば市内中学校 教頭)

Ibaraki children

グループ別研修 新任教務主任 | 7月7日(月) [参加者数 269名]

演題

魂を揺さぶる本気教育
感動は人を動かす



受講者の感想より

今日の講演の中にやる気を出させるヒントがたくさんありました。感動させる・目的をもたせるなど、例やエピソードを挙げ、とても納得できる内容でした。今後、学校での教育活動に活かしていきたい。
(県立高等学校 教務主任)

エンディングに流れた児童と先生の関わりに眞の教師の姿を見、目頭が熱くなるとともに、余韻の残る終末に感動しました。教師としての自分の職務を再確認するとともに、今回の内容を職員に伝えていきたいと思います。
(水戸市内中学校 教務主任)

●講師

木下 晴弘 氏 【昭和40年 大阪府生まれ】

著書『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなれる』(フォレスト出版)他多数。「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者だけでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。

合同研修 新任校長・新任教頭・新任教務主任 | 8月25日(月) [参加者数 624名]

演題

これから日本の教育の
目指すべき方向性



受講者の感想より

「志の教育」下村博文先生のこの言葉が強く心に残りました。閉塞感に満ちた現代日本社会に必要なものは、明るい未来に向かっていく、まさにこの志の精神だという思いを胸に抱きました。
(石岡市内小学校 教頭)

「先生のひと言は、一生ものの言霊になりうる」は、夏の終わりの職員研修でも伝達させていただきました。私自身もこの言葉を宝物にして、がんばっていきたいと思いました。
(河内町内小学校 教頭)

●講師

下村 博文 氏 【昭和29年 群馬県生まれ】

9歳で父を交通事故で亡くし、苦学するが、大学時代に情熱あふれる人々と出会い、政治家としての道を志す。平成元年東京都議会議員に初当選し、平成8年には衆議院総選挙において国政への進出を果たす。以来、行き詰った政治システムを再興し、「教育改革を通して日本の再構築」を実現することを目標とし、人の役に立つことが自分の人生の喜びであることを念頭に活動している。

実際に話を伺ってみて、学校現場における状況を理解してくださっていることに驚きを隠せませんでした。現場にとって何がいいことか、教育にとって何が必要かを考え実践されていることに、私は、日々の実践をがんばらなければいけないと痛感しました。
(つくばみらい市内中学校 教務主任)

基礎基本の定着等学習を教えることも大切なことではあるが、児童生徒の実態をよく見て、その子のもっている力を見極めること、又もっていそうな力を児童生徒から引き出すことが大切だと感じた。
(県立特別支援学校 教務主任)

いばらき教員応援団へのメッセージ

日本の教育の最前線で「教育再生の実現」に向けて日々取り組んでくださっている文部科学大臣のお話を、直接聞く機会を与えてくださったことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(神栖市内中学校 教頭)

一番印象に残ったことは、この「いばらき教員応援団」という活動が日本では唯一と言っていいほどユニークな取組であること、そして、中央がこの取組に関心を持ってくれていることを知ることができたことである。

(県立高等学校 校長)

素晴らしい講演を拝聴する機会を与えてくださった皆様方に感謝いたします。2時間があっという間で、「もっと聴きたい」「聴いてみたい」という気持で満たされ充実した研修となりました。

(水戸市内中学校 教務主任)

事業計画

○ 合同研修会

平成27年6月24日(水)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
講師 田坂 広志 氏

○ グループ別研修会

平成27年8月 6日(木) 新任校長
平成27年8月11日(火) 新任教頭・副校長
平成27年8月18日(火) 新任教務主任
ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間

いばらき教員応援団役員一覧

【役員】

理事長 高野 英一 タカノフーズ株式会社
専務理事 打越 芳男 株式会社打越製材工場
常任理事 小松 満 社団法人茨城県医師会
常任理事 沼尻 博 沼尻産業株式会社
常任理事 和田 祐之介 茨城県商工会議所連合会
事務局長 石原 道明 元城里町教育委員会教育長

副理事長 幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社
常任理事 加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社
常任理事 関 正夫 関彰商事株式会社
常任理事 幡谷 祐一 茨城県信用組合
監事 和田 芳武 ネットトヨタ茨城株式会社

【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション
鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所
鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店
幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社
和田 幾久郎 株式会社祐月本店

加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社
坂場 英利 株式会社白英社
関 正樹 関彰商事株式会社
藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシンズ

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260